

# 樹 姉 ば よ り

No.145  
2016.11



昨年度のセレモニー

## 慈 悲 喜 捨

十一月は霜月とも言います。霜が降る月とされ、曆の上では七日が立冬で、この日から立春までが冬になります。朝夕が次第に寒くなり、

北風も吹き始めて初雪の便りも届くようになります。しかし、移動性高気圧が日本に近づくと、穏やかで春のように暖かい晴天の日になります。この日を「小春日和（こはるびより）」と言います。日和（ひより）は、海の上の晴れた天気をさす言葉で、漁師は天候が悪い時には、港で日和待ちをするそうです。秋の日差しが心地良く、紅葉を見ながらの散歩は、何とも言えない心地よさがあります。また、暖かさに誘われて、季節はずれの花が咲くこともあります。冬に入っても咲き残っているバラのことを、「冬薔薇（ふゆそうび）」と言います。この季節に見る、バラの花の可憐な美しさは私たちの心を引きつけます。

小春日和の後に訪れる、冬の晴れた日を「冬日和（ふゆびより）」と言います。こたつに入りながら受ける陽射しが気持ちよくて、ついうたた寝をしてしまうこともあります。

十一月二十二日は小雪です。立冬の後の十五日目で、「小」は寒さはまだ厳しくな

く、わずかながら雪が降り始めるようになる頃ということ。雪国からは雪便りが届き、東京周辺でも霜が降りるようになります。北風が吹いて、朝夕の厳しい寒さは冬の到来を実感させます。

霜は、空気中の水蒸気が、氷点下に下がるときに地面に凍りついて氷の結晶になったものです。柱状の結晶が土を持ち上げた霜柱を踏み締める「サクサク」と音がします。昔は、北風をものともせず霜を踏み、靴を濡らしながら遊ぶ子どもたちの姿をよく見かけました。

また、秋の終わりを実感できる季節を「晩秋（ばんしゅう）」と言います。朝晩だけではなく、日中でも寒さを感じ、木々の枯れ葉も散って落ち葉の時期になります。

寒さ厳しい、冬の季節が到来したことを感じさせるのが十一月です。最近、暖冬で暖かな日が続いて、観光地では紅葉が残っていることもめずらしくありません。しかし、自然は、ひっそりと来春の準備を始めようとしています。私たちもそれに倣って備えていく必要があるように思います。

季節の移り変わりを実感しながら、四季折々の風情や文化を大切にしていきたいでしょう。

# あとからくる者のために

明照学園理事長  
野口 秀樹



と言う方をご存知ですか。私は中学三年生（昭和四十二年）の時に家にあった『自選坂村真民詩集』という詩でその存在を知りました。真民さんはその頃まだ高等学校の先生をしていて、無名に近い状態であったのではないかと思いません。

私は何気なく目を通しておりましたが、『二度とない人生だから』という詩に釘付けになってしまったのです。

二度とない人生だからというフレーズが新鮮で、頭に残ってしまいました。それから機会がある度にその詩集を読むようになりました。二年前に九十七歳で他界されましたが、この数十年は、現代の人生の善導者、世界の幸せを祈る実践者として大変著名な詩人でありました。

この方が私達大人のあるべき姿を詩にされているのです。それは『あとからくる者のために』というタイトルです。

あとからくる者のために  
苦勞をするのだ  
我慢をするのだ  
田を耕し  
種を用意しておくのだ

是非ともご来場頂けますようお願い申し上げます。  
九〇九年（二〇〇六年）

しんみんよお前は  
詩を書いておくのだ

あとからくる者のために  
山を川を海を  
きれいにしておくのだ

あああとからくる者のために  
みなそれぞれの力を傾けるのだ

あとからあとから続いてくる  
あの可愛い者たちのために

未来を受け継ぐ者たちのために  
みなそれぞれ自分で出来る何かをしてゆくのだ

還暦を過ぎた私は、残り少ない人生を思う時どんなに欲張ってもあと三十年、この世界の行き着く所など心配無用など。

この詩は私の流される感情をいつも引き戻してくれているのであります。

しかも私は、未来のこの国を創り上げていく子ども達と毎日接して生きている特別な使命を与えられている。この子達の為に今できることをして行かなければならないのであります。

我が国の一千兆円の借財の話を聞く度に、胸が痛くなります。今を預かるこの

国の大人としての責任を感じております。真民さんもそうですが、明治時代の内村鑑三さんも『後世への最大遺物』と言う書物残しておられます。

先人の思いは次の時代への源になって行く。今こそ大人の生き方が問われる時代の到来、先ずは私が自分の責任を果たして参ります。

合掌

## 月影祭

平成二十八年度「月影祭」が、十一月五日（土）・六日（日）の二日にわたって行われる。今年度の月影祭は二年連続となる。これまで隔年で行っていたものが新校舎建設に伴う工事のため、体育祭を二年連続で行ったためであり、また、隔年に戻すための調整年でもあることから、今年も月影祭を行うこととなったものである。

本校では、文化祭を「月影祭」という呼称で実施しているが、これは長年親しまれてきた「慈善バザー」が「樹高文化祭」に変わり、昭和五十八年から、呼称を「月影祭」と変えたためのものである。主な催しは、「生徒作品・研究発

表、販売実習、中学生作品コンクール（家庭・書道・絵画）、「関連行事としては「中学生招待試合、卓球大会・柔道大会（十一月三日実施）・剣道大会（十一月十三日実施）」が行われるが、メインは代々受け継がれ、関心の高く、主要な催しとなっている、規模も内容も充実している慈善バザーである。

一般的に文化祭といえは単なるお祭り騒ぎに終始しがちな傾向があるが、本校の月影祭は、そうした文化祭とは一線を画し、当に文化祭の名にふさわしく各文化部が日常の研究成果を存分に発揮する、文化部門における学校最大の行事になっている。月影祭の呼称は

「月影の 至らぬ里は無けれども 眺むる人の心にぞすむ」

（訳）月の光が照らさないところは無いが、月を眺める人の心にこそ月は澄み渡るのである。という浄土宗祖法然上人御詠によるものである。

顧問 尾内 正彰

## お詫びと訂正

十月号・3頁4段8行目の研究所は研究室の誤りでした。

# 近くて見がたきものわが心

空海

## 十六歳になったら

本校では毎年十一月に、日赤の献血事業に協力しており、これまでに献血協力優良校として全国表彰を受けたこともあります。しかし、現在の献血者数は例年三百人ほどで、生徒全体に占める割合も、ここ数年は、二十%前後という低い数値で推移しています。

献血の目的や意義は理解していても、献血に関する知識を充分に持っている生徒は多くありません。学校保健では、事前にパンフレットを配布して、これが、献血者の維持につながっているのは確かですが、まだまだ多くの生徒が「十六歳以上で健康」という献血可能な条件をクリアしているのに、献血をしていないのです。「血をとられる」「血を抜かれる」などの表現には、献血に対する意識が端的に

現れています。生物としての防衛本能の発現ともいえるこの恐れや気持ちと、初めての体験への不安が献血者の増加を阻んでいるのです。

ある先生が、こんな経験談をしてくれました。「献血への恐れを乗り越えさせるのは、それほど難しいことではありません。多くの生徒は、自分が献血に協力していないという事実について、「私って、これくらいの勇氣も無いのかしら」「このままじゃ、自分は平気で輸血を受けられない」「○○さんがしないから私もしないでいいや」などと思っているものです。ですから、必要になるのはいきり切るためのきっかけで、生徒たちはそんな機会を待っているといっても過言ではありません。彼らを献血に導くには、その気持ちを踏まえて話をすることです。話は、献血に関する一般的な事柄でも、自分の献血体験でも

かまいません。その内容に献血に対する否定的な見方をさえないければ、必ず生徒の気持ちは変化します。語り手は、印刷物と生の言葉の実力差を痛感することになるでしょう。



しばらくすると、さっきまで尻込みしていた生徒の中から声が聞こえてきます。それは「やってみようかな。」「よし、やってみよう。」などの言葉です。そうなれば、語り手は盛り上がったきた雰囲気の後押しするだけでよいのです。初めての献血を終えた生

徒の感想はさまざまですが、その表情や言葉からは、等しく「開放感」と「充実感」が伝わってきます。開放感の中心は、献血前の心理を見れば明らかであり、充実感、社会的な貢献をなした喜びと、そこから生じる自己の存在感の確認でしょう。そしてこの「充実感」が、「自信」につながっていくのです。「献血率が低迷している現在、この経験談は参考にするべき多くの内容を持つていると思えました。」

の変更が行われました。これを受けて、本校でも二年生男子の十七歳以上と三年生の男女には四〇〇mlの献血を勧めています。なお、献血時には慎重な事前検査が行われ、献血者には血液検査のサーブिसもありません。

(学校保健)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

### ■樹徳コミュニティセンター「み法」11月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」  
主催 野村ナナ子さん 10, 24日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾  
主催 上野文雄さん 17日(木)
- (3) 販売実習(12, 26日の各土曜日)
  - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
  - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
  - ③ 東北復興支援商品(海産物等)

# ◆月影祭準備、着々と…

いよいよ間近に迫る月影祭。各方面での準備が着々と進んでいます。月影祭実行委員会を中心に、樹徳高等学校の「今、ここ」を来場者の方々に体感していただけますよう、本校生が一丸となって準備に取りかかっています。今回はその最前線をご報告いたします。

『いざ迫る月影祭』

平成二十八年度

月影祭実行委員長

3年J3組 白川 慶祥

本番まで残りわずかとなった今、着々と準備を進めています。テーマ館では初代から四代目までの、本校歴代の校長先生と、各界で活躍している本校卒業生

について少しでも地域の方々に知っていただくよう紹介文を模造紙に書いて掲示する準備を行っています。歴代の各校長先生や卒業生たちがどのような方であったのか、どのような世帯の方が見ても分かりやすくなるよう、私たちなりに工夫してまとめ上げていますので、是非テーマ館にお立ち寄りください。

次に企画展ですが、こちらは前回は紹介させていただいたプラネタリウムなど、ご来校いただいたお客様に楽しんでいただける内

容となっております。プラネタリウムは過去に行われた月影祭では実践例がなく、準備の段階で試行錯誤が続く毎日ですが、その分、私たちが実行委員会はやりがいを感じています。また、その他にも休憩コーナーや射的、屋外ではポップコーン、綿アメの販売も予定していますのでお楽しみに。

一方、明照体育館一階勢至ホールでは各部活動や生徒個人の特技などの発表の場となっております。部活の発表をする生徒は日頃の練習の成果を皆様にご覧いただける絶好の機会でもありますので、こちらも発表に向けて準備が進行中です。個人参加のパフォーマンスも多数の応募を受け、先日オーディションが執り行われました。各分野で活躍する生徒たちの日頃の努力の成果を、是非ご覧下さい。このように月影祭に向けての準備が着々と進行する中、私自身、実行委員長と

してたくさんの方に当たり続けています。しかし多くの困難を仲間と共に乗り越えていくことで、過去の月影祭にはない新しい風を吹き込めるのではないかと考え、前進を続けています。月影祭では本校の「今、ここ」を存分に満喫していただけるよう準備を重ね、皆様のご来校を心よりお待ちしております。



建設中の入場門



昨年度のパレードの様子



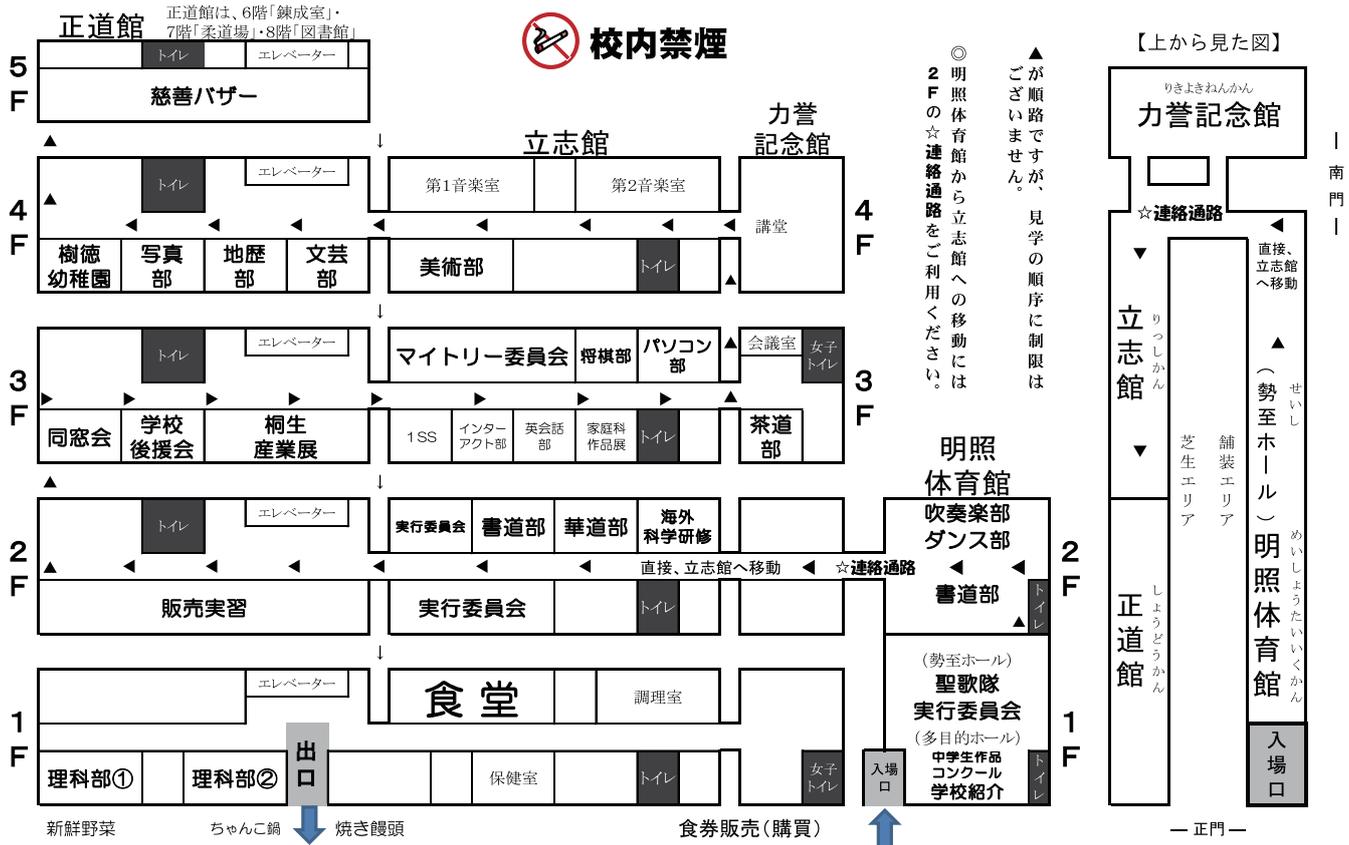
月影祭の企画を話し合う実行委員



勢至ホールパフォーマンスの募集広告を作成中!



# 月影祭 校内案内図



## フロアガイド

### ■明照体育館

1F	聖歌隊	ポップス・ミュージカル・ジブリ・合唱曲と幅広いジャンルから、企画ステージをお楽しみいただけます。
	実行委員会	イベントの名称は「勢至ホールパフォーマンス」。毎回ロックバンドやダンス・武道系の演武等、大変盛り上がります。
	中学生作品コンクール	絵画・書道・家庭の3部門にわたって、関係中学校から多数の作品を出品していただきました。素晴らしい出来栄の作品ばかりです。
2F	入学相談	中学生とその保護者に、創立102周年を迎えた樹徳高校の実績と未来に向けての新しい取り組みを紹介し、入学相談を受け付けます。
	吹奏楽部	今年度、県吹奏楽コンクール及びマーチング群馬県大会W金賞受賞した吹奏楽部が、11/6(日)の関東マーチング大会に出場する演奏演技を披露します。
	ダンス部	オリジナル作品を含むリズムダンスを披露します。公演は1日1回です。部員たちのパワフルなステージ、お見逃しなく。
	書道部	書道パフォーマンスです。4m×5mの大きな紙に、1年生の部員たちが音楽に合わせて作品を書き上げます。

### ■正道館

1F	理科部①②	おもしろ科学実験「スライムをつくろう」「マシュマロを大きくしよう」「人工イクラをつくろう」「色紙とこんにやくシルク」の研究発表他。
2F	販売実習	情報商業コースの生徒が授業の一環として運営する樹徳マーケットです。東日本大震災の復興支援として、被災された企業の商品も販売。
3F	同窓会	同窓会員の憩いの場です。会員の作品のほか、懐かし思い出が蘇る数多くの写真を展示します。どうぞお立ち寄りください。
	学校後援会	後援会員の皆様から丹精込めて作り上げた作品を展示し、無料の休憩コーナーとして、湯茶をサービスいたします。
	桐生産業展	西の西陣、東の桐生と称された伝統ある織物の多様な繊維製品を展示・販売します。どうぞご覧になってください。
4F	文芸部	今回は「朗読劇」をご鑑賞下さい。初めての出し物であり、部員数も多くはありませんが、一所懸命に努めさせていただきます。
	地歴部	桐生市川内町で発見された千網谷戸遺跡の調査並びにアンギン編みの体験。勾玉づくり等で、皆様をお待ちしています。
	写真部	県民芸術祭・高校写真展に出品された作品をはじめとした部員の作品展示はもちろん、樹徳での学校生活の様子を写真で紹介いたします。
	樹徳幼稚園	園児たちの活動を紹介するとともに、豊かな感性が輝く園児たちの作品を展示します。勢至ホールでは可愛い歌声を披露します。
5F	慈善バザー	奉仕の心を実践体得する伝統の催し物です。今回も各方面から多大なご協力をいただきました。売上金はすべて福祉施設に寄付いたします。

### ■立志館

2F	海外科学研修	平成28年度の研修成果を発表します。UCLAのキャンパスをベースに学んだこの研修の魅力を感じ取っていただければ幸いです。
	華道部	使用済みのペットボトルにお花を生けてみました。午前と午後それぞれ1回華道体験をしていただくコーナーも設置しました。
	書道部	月影祭のテーマに沿って制作した作品のほか、教育書道展や夏休みの課題入賞者の作品を展示。毛筆体験コーナーもご用意します。
	実行委員会①	テーマ展。歴代校長先生の功績紹介。各界で活躍している本校の卒業生に視点をあて、テーマに沿った足跡を中心に紹介いたします。
3F	実行委員会②	企画展。①プラネタリウムに挑戦します。ロマンチックなひとときをお過ごし下さい。②お楽しみコーナー。射的やゲーム、休憩場所にもなります。
	マイトリー委員会	樹徳高校の創立100周年記念事業であるミャンマーでの学校建設について報告。ミャンマーの文化を紹介。写真展。民芸品販売。ミャンマー占い。
	1SS	あなたはクリアできるか!?雑学をはじめクイズを解き密室から脱出しよう!!参加型アトラクションです。成績上位者には景品をプレゼント!!
	インターアクト部	いよいよ飲む券金?! 休憩でらフェアトレードコーヒー・紅茶をお楽しみ下さい。フェアトレードを介した国際支援の在り方をご紹介します。
4F	英会話部	メモリーゲームやワードサーチなど、英語を用いたいろいろなゲームを用意しました。英語という言葉の世界を気軽に楽しんで下さい。
	家庭科作品展	家庭コースの生徒が制作した作品を展示します。授業で制作したゆかたを中心に展示しています。
	将棋部	「部員対局」「詰め将棋」「大脳解説」「県大会・全国大会の展示」、県高校竜王に挑戦! 6日(日)は大会出場のため不在です。
	パソコン部	マインクラフトやスターウォーズ、アナ雪の世界で、プログラミング体験(ゲーム作り)ができます。一定の条件をクリアすると景品も!!
4F	美術部	部員たちの作品を発表するほか、月影祭のポスター、夏休みの宿題の絵画の優秀作品も展示いたします。

### ■力誉記念館

3F	茶道部	長い歴史を持つ日本の茶道。お席に入って一服いかがでしょうか。本格的なお菓子でおもてなしいたします。お茶券は300円で販売しています。
----	-----	--

# 一貫校 中学校 だより

## ◆無知の知

古代ギリシアにソクラテスという哲学者がいます。標題の「無知の知」とは、ソクラテスが常に自らと向き合い、問いを発し、真理を探究した知の営みを現した言葉として知られています。

紀元前五世紀頃のギリシアでは、ソフィストと呼ばれる人たちが、知識の量や弁論の巧拙を競い、自分こそが知識に秀でた賢者であると誇っていました。ソクラテスは、街に向き、世にいう賢者と繰り返し議論を交わしました。その結果、彼は賢者との違いを知りました。それは、ソクラテスは自分は知らないことは、知らないと自覚していることでした。この認識こそが知の出発点とし、より善く生きるこの意味を問い続けたのです。

ソクラテスの言葉をみなさんの学校生活に置き換えて考えてみたいと思います。学ぶとは、知識を得て、それらに関連づけながら考えを深め、問題解決の方法を習得し、解に到達する力

を身に付けることにあります。その際、大切なことは知識の多寡よりも、内面の心と向き合い、自分には分からないことがあるのだと自覚しながら取り組む姿勢があるかどうかです。知らないこと、分からないことがあるからこそ、少しでもそれをなくしていこうとする弛まない取組が、学ぶというこの意味なのです。

みなさんは、教科の先生方から日々授業を受けています。授業を受け身の姿勢で聴くのではなく、そこには主体的な関わり方がなくてはなりません。主体的とは、自分で考え、問い続けるといふ、営みのことです。「無知の知」とは、謙虚に自問自答しながら知を探求し、考えることのできる人間の営み、存在のあり方を教えてくれます。

(顧問 斎藤哲也)

## ◆茂木健一郎氏

×塩谷賢氏  
公開対談 Part 2

九月十八日(日)に本校で茂木健一郎氏(脳科学者)



と塩谷賢氏(哲学者)の公開対談が行われました。二人は四年ぶりの来校。朝からあいにくの雨でありましたが、中学校棟三階講堂の会場は約一六〇名の聴衆で埋まりました。受験のためだけの知識、偏差値では測れない知性や、そういう知性をもった人との出逢いを大切に、と茂木氏は説き、塩谷氏はそれをホワイトボードに図式化。

一貫校生との語らいのコーナーも設けられ、時間を延長するほどの大盛況ぶりを見せる公開対談となりました。

## ◆桐生・みどり市

### 中学駅伝競走大会

### 大会新記録 堂々の二連覇

十月八日(土) 新里総合グラウンド周辺コースで中学駅伝競走大会が行われました。

昨年度、創部以来初優勝した駅伝部。今年度は大会新記録での二連覇を目標に練習に励んできましたが、見事大会記録を十二秒更新し二連覇を達成しました。

一区深沢君、二区友野君、三区加川君が二位につけていくと、四区赤坂君が一分以上の差をつけて一位に躍り出ました。五区関子田君、六区阿部君が区間一位の走りを見せ、最終的には二位と一分四十一秒差の独走状態でゴールを切りました。

優勝旗を手にしたあと選手たちに声を聞くと、「優勝できたことは嬉しいけれど、個人的には満足いく走りはできていなかったのですね、県大会では満足いく走りをした」と、各選手たちは新たな意気込みを語ってくれました。



樹徳中学校  
第1期入学試験  
11/12(土)

出願期間  
10/31(月)～11/2(水)

お問い合わせ  
TEL 0277-45-2257

# 幼稚園だより

## 「月影祭に参加します」

もみじやイチョウの葉が色づき始め、秋から冬へとバトンタッチをする時季となりました。

子どもたちは、十月に行われた運動会や親子遠足を終えて、少しゆったりとした雰囲気の中で、のびのびと自分を表現する姿が、多く見られるようになりました。クラスの団結も深まり、友だちを認め合う姿から、心身の成長が感じられます。

今は、樹徳中・高等学校「月影祭」に向けて、ステージ発表（合唱）の練習に取り組んでいます。昨年に引き続き開催される文化祭「月影祭」に明照学園の一員として、参加できる事を、子どもたちとともに喜び、明照学園の一員としての連帯感につなげていきたいと思っています。

当日の、合唱発表や展示

発表を紹介します。

○ステージ発表

中学校・一〇時三〇分  
高校・十一時三〇分

【内容】

年少「おんまはみんな」

「ピクニックマーチ」

年中「夕やけこやけ」

「バナナのおやこ」

年長「まっかな秋」

「森のくまさん」

全体「園歌」

○展示発表

【内容】

中学校では、子どもたち全員の自由画を展示しま



綱引き（年長さん）

す。高校では、習字「そ」や、秋をテーマにした作品「秋」・ポスター等掲示します。遊びコーナーも、企画しています。

年少・年中・年長さんが練習の成果を、可愛く、一所懸命発表しますので、関係者皆様のご来場よろしくお願いいたします。

「運動会を終えて、成長した子どもたち」

雨の予報に天気心配でしたが、晴れ間が出る運動会日和に恵まれた十月八日（土）に、運動会が盛大に開催されました。

子どもたちの成長を見てもらうことや、運動会を機会にさらに大きく成長することを目的に、練習や当日の発表を通して、子どもたちが自覚し、自信を深め、満足感を味わい、確実な成長へとつながりました。

クラスの仲間意識が強くなり、自信もついて「泣かない！」等、心身ともに大きくなった年少さん。運動会の練習を通して競い合う気持ちや、意欲的に取り組む姿勢、友だちへの優しさが見られるようになった年中さん。

運動会で大きな成果を

げ、その達成感・満足感から、自信もついて積極的に取り組む姿勢など、頼もしさが多く見られるようになった年長さん。

みんなで一緒になって、力一杯、思いつき楽しんで運動会は、子どもたちに「大きな仕事を成し遂げた」という満足感を与え、大きな自信となって、次の成長への手がかりとなっていきます。子どもたちの成長を、より一層確実にする努力を継続し、充実した二学期にしたいと思っています。

ご支援ご協力よろしくお願いたします。

「カナダからの体験入園」

十月十七日～十一月四日までの三週間、カナダより



玉入れ 一全学年一

一時帰国したお子さん（ミラちゃん・四歳）を体験入園として受け入れました。生活・文化の違い日本で、当初はとまどいもありましたが、日を追うごとに慣れて、友だちと楽しい園生活を過ごしています。ミラちゃんにとって初めての異文化体験。楽しいよい思い出をたくさんつくって、カナダでも頑張ってほしいと願っています。

園長 瀬谷 茂

「入園願書受付」

○幼児教育は、未来を生きる力の基礎を育成する樹徳幼稚園で！

一願書受付中！

お早めの提出を！

○受付時間 平日八時三十分～十八時

○募集人員 二歳・満三才児一〇名

・年少 四〇名

・年中・年長 各一〇名

（転入園歓迎します）

○入園願書は直接ご来園くださるか、お電話にてお問い合わせください。

※土、日のご来園は事前にご連絡ください。

桐生市広沢町3-4475

0277-5315571

ホームページをご覧ください！

<http://www.jufoku.ed.jp/Kinder>

11月(正定)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	火	3時限授業 大掃除 月影祭準備	頭髪服装指導 3時限授業 大掃除 月影祭準備 中学入試願書受付(～2日)	
2	水	月影祭準備(係以外自宅学習) 中学生作品コンクール審査会	月影祭準備	避難訓練(火災) 英語(全) 文字・数(年長)
3	木	文化の日 月影杯(卓球・柔道)	文化の日	文化の日 きものの日児童画展表彰式
4	金	月影祭準備(係以外自宅学習) 授業料納入日	月影祭準備	保育料納入日
5	土	月影祭1日目		
6	日	月影祭2日目		
7	月	月影祭後片付け	月影祭後片付け お役に立とう週間(～13日)	月影祭代休日 預かり保育
8	火	11/5 振替休日		さつまいも掘り(園の畑)
9	水	11/6 振替休日		東部地区研究委員会 英語(全) 文字・数(年長)
10	木		桐生市音楽発表会	体育(全) 文字・数(年中)
11	金	私学校長会(明和県央)		お誕生会(10月・11月生まれ)
12	土	職員出勤日 SS組入試説明会 1・2年進研模試② 1・2年学研模試(補習者対象)	中学校第一期入学試験 県中学生駅伝大会	
13	日	ペン字検定② 英語検定②二次 月影杯(剣道)		
14	月	LHR 修学旅行事前指導①(1～2時限)		リズム(全) 線(年少)
15	火	交通安全マナーアップ運動③	交通安全ミニマナーアップ運動	七五三お祝い
16	水	マイトリー基金拠金日		お茶のお稽古⑤(年長) 英語(全) 文字・数(年長)
17	木		3年イギリス語学研修(～23日)	体育(全)文字・数(年中)
18	金	修学旅行事前指導②(5～6時限) 県高P連指導者研究会(前橋テルサ)		年中保護者園内清掃
19	土	3年河合塾センタープレ試験(～20日)		
20	日	日商簿記検定②		学校茶道発表会(年長) 一大善寺一
21	月	期末試験(～25日)	高校期末試験(～25日)	リズム(全) 線(年少)
22	火			設置者・園長研修会①
23	水	勤労感謝の日		
24	木			体育(全) 文字・数(年中)
25	金	修学旅行直前指導		
26	土			
27	日	全商ビジネス文書実務検定②		
28	月	2年修学旅行(～12月2日) LHR 3年SSk k S組三者面談	5年生修学旅行(～12月2日)	リズム(全) 線(年少)
29	火	私学復興全国大会(東京メルパルク)		
30	水	出欠統計提出 女子制服アフターサービス		英語(全) 文字・数(年長)

※1日は校内安全点検日です



樹徳高等学校  
樹徳中学校  
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号  
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12  
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475  
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web [www.jutoku.ed.jp](http://www.jutoku.ed.jp) Mail [office@po.jutoku.ed.jp](mailto:office@po.jutoku.ed.jp)

発行責任者 野口秀樹  
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく